

令和 6 年度
公益財団法人 新日本宗教団体連合会
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

目 次

◆概況	1
◆公益事業	1
◆管理部門	7
◆総支部	11
・北海道	11
・奥 羽	11
・東 北	12
・北関東	12
・首都圏	13
・北 陸	14
・中 部	14
・近 畿	15
・中 国	17
・四 国	17
・九 州	17

公益財団法人 新日本宗教団体連合会

令和6年度事業報告

概 況

新宗連は教えや信条の違いを越え、共に手を携えて、人類福祉の増進と世界平和を目指して祈りと行動を続けてきた。一方、戦争や紛争、近年多発する自然災害、感染症等、人々の不安が絶えない社会の中で、一人ひとりに寄り添い、光明を示していく宗教の役割が希求されている。

特に新宗連が大切にしてきた4つのスローガン「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」の実現を目指して『定款』に掲げる「目的」「事業」を推進した。

○定款 第3条 目的

「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」

○定款 第4条 事業

「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力による、より良い社会形成の推進」

【重点課題】

- (1) 基本的人権の根幹である「信教の自由」の意義と精神を再確認した
- (2) 「信教の自由」の遵守を基調として、一人ひとりの主体的かつ自由な信仰を促進し、宗教団体の宗教活動推進と相互啓発を進めた
- (3) 一人ひとりが自己の信仰を深め、宗教尊重の気風作興と信仰心が尊重される社会づくりを広げた
- (4) 「すべてのいのちを尊ぶ世界」－「世界平和」という共通目標に向かい、各教団の宗教活動を通して「平和を希求し祈り行動する人」を育てた
- (5) 緊迫する国際情勢、地球環境危機等を注視するとともに、戦争犠牲者、自然災害犠牲者をはじめとする物故者追悼の祈りを通して、世界平和につながる基盤構築に努めた

公益事業

宗教団体が公益活動を自由かつ円滑に行えるよう、信教の自由の尊重と擁護、宗教団体個々の利益を超えた青少年の健全な育成及び豊かな人間性の涵養、不当な差別又は偏見の防止等を通して、より良い社会形成の推進に関する調査研究及び普及啓発活動を行った。

◆講座及びセミナー等の開催

(1) 第35回教団人セミナー

日 程	令和6年6月26日
会 場	新宗連会館／オンライン
テ ー マ	「現代日本の宗教－社会状況と新宗教のあり方」
講 師	塚田穂高・文教大学教授
内 容	現代世界と日本の宗教状況を学ぶと同時に、「カルト」問題、「宗教2世」問題など現代宗教における問題について学び、今後の新宗教、新宗連について共に考え、語り合う機会とした。

(2) 第36回教団人セミナー

日 程	令和7年2月17日
-----	-----------

会 場	新宗連会館／オンライン
テ ー マ	「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現のために私たちができること ～ヘイトスピーチとマイクロアグレッション（無自覚な差別）
講 師	渡辺雅之・大東文化大学特任教授
内 容	現代社会で様々な生きづらさを抱える人々の実情を知る機会として、無自覚な差別（マイクロアグレッション）、やヘイトスピーチなどについて学び、すべてのいのちを尊ぶ世界実現のため、共に学び合い語り合う機会とした。

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催

(3) 第 84 回 拓大宗教法人研究会

日 程	令和 7 年 3 月 17 日
会 場	新宗連会館／オンライン
テ ー マ	不活動宗教法人の実情について―国と宗教の歴史をふまえて考える
講 師	大澤広嗣・文化庁宗務課専門職 中島充伸・文化庁宗務課課長補佐
内 容	不活動宗教法人の歴史的経緯、不活動宗教法人対策等について学ぶ機会とした。

◆機関紙・インターネット等による広報

(1) 「新宗教新聞」の発行（年 6 回）

（令和6年度、第1面の主な記事）

04月号 能登半島地震被災者支援、第28次アジア青年平和使節団

06月号 第32期第7回理事会、第32期第4回評議員会、第33期第1回理事会

08月号 第59回「8.14式典」、第35回教団人セミナー

10月号 令和6年度全国総会（第33期第2回理事会、第33期第1回全国総支部会議）

新年号 石倉寿一・新日本宗教団体連合会理事長年頭所感

03月号 「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業・平和への巡礼Ⅰ、
第33期第3回理事会、第36回教団人セミナー

(2) 新宗連ホームページの定期更新

(3) 新宗教新聞 WEB 版「Headline」の定期更新

◆地域に根ざしたより良い社会の形成に向けた活動

アフターコロナを見据えた運営方針に基づき、オンラインを活用するなど徐々に総支部・協議会の活動を再開し、より良い社会の形成に向け普及啓発に努めた。

※詳細は P.11～P.18 を参照。

(1) 全国総支部会議

○第 33 期第 1 回（10 月 9 日／福岡市博多区・ホテル日航福岡）

内 容 第 33 期第 2 回理事会の報告と今後の総支部活動について協議した。

◆青少年育成に関する活動

青少年の健全育成、信仰心の醸成を目的とし、新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会）を通して、「8.14 式典」「ユースフォーラム」「青少年育成セミナー」等の各種事業を実施した。

(1) 第 59 回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8.14 式典）」

※新日本宗教青年会関東連盟を中心に運営

日 程 令和 6 年 8 月 14 日

会 場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑（東京都千代田区）

式 次 第 献灯・献鶴

主 催 者 あ い さ つ：宮本泰克／新宗連青年会委員長
教団別礼拝（各教団代表者）

平和へのメッセージ：加盟教団青年代表者

平和の祈り（黙祷）

新宗連代表あいさつ：石倉寿一／新宗連理事長

参 列 者 約 400 人

※ライブ中継の最大接続数は 485

※8月 25 日に解脱会北本御霊地で式典に奉納された千羽鶴のお焚き上げを行った。

(2) ユースフォーラム 2024

日 程 令和 6 年 4 月 20～21 日

会 場 岩手県花巻市

メインテーマ 「私の宗教～宮沢賢治の＜ことば＞から見るダイバーシティ&インクルージョン」

内 容 講演会、交流会、宮沢賢治記念館・童話村見学

参 加 者 約 80 人

(3) 青少年育成セミナー検討会

日 程 令和 6 年 4 月 21 日

会 場 花巻温泉

内 容 今後の青少年育成セミナーの内容について検討した。

参 加 者 13 人

(4) 「沖縄慰霊の日」代表参列

日 程 令和 6 年 6 月 23 日

内 容 沖縄県主催沖縄全戦没者追悼式に参列したほか、沖縄戦・戦後復興の学習を行った。

参 加 者 4 人

(5) 各種会合の開催

○委員会（4月 20 日、6 月 20 日、8 月 13 日、11 月 30 日、令和 7 年 1 月 21 日）

※うち 4 月と 11 月は拡大委員会として全国 11 連盟の代表者が出席した。

(6) 地方連盟・県（地区）委員会の活動

※以下、新宗連青年会（全青連）の各種会議・行事への参加については省略

○北海道連盟

・北海道総支部代表者会議（令和 7 年 3 月 8 日／参加者 8 人うち北海道連盟 2 人）

○奥羽連盟

・ユースフォーラム 2024 受け入れ（4 月 20～21 日）

※実行委員 11 人

○北関東連盟

・常任委員会（7 月 6 日／6 人、11 月 9 日／6 人）

○関東連盟

・委員会（4 月 27 日／6 人、5 月 19 日／6 人）

・第 59 回「8.14 式典」の運営協力（8 月 14 日）

※実行委員会等の開催（6 月 29 日、7 月 21 日）

6 月はオンライン、7 月は新宗連会館

※反省会（9 月 21 日）

○中部連盟

・常任委員会（4 月 14 日／12 人、6 月 17 日／11 人、11 月 28 日／10 人、令和 7 年 2 月 9 日／13 人）

※4 月、2 月はオンライン併用、6 月、11 月はオンライン

・臨時常任委員会

内 容：ユースフォーラム 2025 に向けて

※月 1～2 回オンライン

・青中連交流会@福聚の会（6 月 29 日／45 人）

内 容：読経供養、杉浦妙周会長の法話、交流会、昼食

○近畿連盟

・委員会（4 月 27 日／7 人、10 月 2 日／5 人、12 月 5 日／7 人）

※4 月は新宗連大阪事務所、10 月、12 月はオンライン

・青近連結成 70 周年事業学習会

第1回（4月27日）

テーマ：これまでの青近連の歴史について

内 容：元青近連委員の高城泰志・円応教理事と生田茂夫・元新宗連大阪事務所所長／元新宗連青年会事務局長を招いてこれまでの青近連の歴史や活動について聴講した。

第2回（令和7年2月7日）

テーマ：2027年ユースフォーラム受け入れに向けて

内 容：元青近連委員長の益本圭一氏と元新宗連青年会事務局長の大滝晃史新宗連事務局長を招いて、2014年のユースフォーラムの受け入れ時の取り組みについて体験談を聴講した。

- ・教団訪問（7月13日大慧會教団／10人）

内 容：石倉寿一会長の講話、教団施設見学、交流会

○中国連盟

- ・委員会（6月8日、6月29日、8月24日、9月25日）

- ・第39回原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（7月20日／108人）

内 容：被爆体験講話、献花、献水、各教団慰霊、ふるさと合唱、黙とう

○四国連盟

- ・委員会（4月10日／6人、6月29～30日、10月22日／6人）

※4月、10月はオンライン、6月は立正佼成会高松教会

○九州連盟

- ・青九連ユースフォーラム 2024 in 北九州（9月14～15日／78人）

会 場：立正佼成会門司教会、小倉教会及び門司港レトロ、平和のまちミュージアム

テーマ：「Feel the キタキュー ～出会いから絆へ～」

目 的：北九州の良さを感じてもらいつつ、前回の佐賀で行われた際に交流した仲間とより繋がりを深める。

内 容：ウォークラリー、施設見学

- ・常任委員会（6月9日／13人、7月21日／13人、12月14日／17人、令和7年3月2日／19人）

※12月は立正佼成会小倉教会／オンライン、3月は立正佼成会福岡教会／オンライン、他はオンライン

- ・第52回 原爆殉難者慰霊祭（長崎県宗教者懇話会主催）への参列

（8月8日 長崎市原爆落下中心地）

参加者：献灯者38人、スタッフ16人

◆調査研究活動

（1）専門委員会による調査研究

「信教の自由」、宗教法人の社会的役割等に関する情報収集と提言案作成を目的とし、下記の通り専門委員会による調査研究を実施した。

○信教の自由委員会

「信教の自由」と政教分離に関する調査研究と情報収集を行った。また7月23日、自由民主党の金子恭之自民党組織運動本部長に対し岸田文雄内閣総理大臣宛て、立憲民主党、国民民主党、日本維新の会の代表に対し、鈴木裕治委員長、力久道臣政治委員長連名の「靖国神社の政治利用に対する意見書」を提出した。令和7年1月16日には政治委員会と合同で靖国神社を訪問、参拝と宮司との懇談を行った。

委員会（5月10日、7月23日、11月8日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○企画委員会

宗教法人が直面する諸問題に関する調査研究と情報収集を行った。「第36回教団人セミナー」について企画立案を行った。また、特別事業「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の企画立案を行った。

委員会（4月23日、9月11日、12月4日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○会計委員会

公益法人及び宗教法人会計に関する調査研究を行った。理事会の要請により、令和5年度決算書案および令和7年度予算原案を作成するとともに、新宗連全体の運営に関わる資産管理、運用等について協議した。

委員会（5月27日、10月14日、令和7年1月30日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○政治委員会

宗教団体が直面する政治課題についての調査研究と情報収集、学習会等を行った。

委員会（5月10日、10月17日、11月8日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○宗教法人研究会

宗教法人と公益性、宗教法人税制、労働法制等について調査研究と情報収集を行った。

幹事会（5月21日、8月26日、11月26日、令和7年3月17日）※11月26日は玉光神社／オンライン、そのほかは新宗連会館／オンライン

○同和推進連絡協議会

不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とした同和問題、人権問題について調査研究を行った。また、対外活動として、部落解放・人権研究所、大阪希望館、「支縁のまちネットワーク」等への支援、協力活動、『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）等の活動への協賛、情報収集等を行った。

（2）関係団体をとおしての調査研究

この法人の目的達成及び各加盟団体の適正な運営に資する各種情報収集を行い、理事会、評議員会、各種専門委員会への情報提供を行った。

〈＊主な関係団体〉

国際宗教研究所、宗教情報リサーチセンター（RIRC）、日本宗教学会、宗教倫理学会、宗教法学会、「宗教と社会」学会、教団附置研究所懇話会、政教分離の会、国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター、部落解放・人権研究所、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）、支縁のまちネットワーク、大阪希望館、聖マーガレット生涯教育研究所（SMILE）、宗教者災害支援連絡会（宗援連）

◆「宗教もしもし電話相談室」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛していたが、令和7年1月16日より相談室を再開。宗教に関する疑問、宗教をめぐるトラブルの解消を目的とし、「宗教もしもし電話相談室」をとおして、電話による相談に応じた。相談件数は令和7年3月31日現在3,311件（累計）。ボランティア相談員13人。月曜日と木曜日の正午から午後4時まで電話相談に対応した。

○電話相談室ボランティア研修会

11月21日 オリエンテーション講師：栗山隆夫／新宗教新聞編集長
研修講師：村 明子／東京自殺防止センター

11月28日 研修講師：村 明子・乙幡善枝／東京自殺防止センター
オリエンテーション講師：栗山隆夫／新宗教新聞編集長

◆宗教相互の理解と対話の促進

宗教文化の発展とより良い社会の形成を目的とし、各加盟団体間、及び神道・仏教・キリスト教・教派神道・新宗教教団等との相互理解を進め、戦争犠牲者の慰霊をはじめ「国際救援金」による国内外の援助活動など、宗教相互の理解と対話を促進する活動を実施した。

（1）日本宗教連盟への参画

「信教の自由」の尊重と擁護並びにより良い社会形成の推進をはかるため、日本宗教連盟の構成団体として、同連盟の会合及び事業に参画した。

① 理事会（6月5日、6月28日、令和7年3月13日）

② 評議員会（6月27日）

③ 幹事会／宗教文化振興等推進委員会（文化庁宗務課、有識者との面談及び学習会、記者懇談会等を含）

（5月9日、8月6日、10月22日、12月24日、令和7年2月27日）

- ④ 第7回宗教法人の公益性に関するセミナー（7月19日）
 テーマ 「令和6年能登半島地震における宗教施設、宗教者の対応」
 概要 宗教者による能登半島地震支援活動状況、宗教施設の被災状況等の報告後、公費解体、指定寄付金、復興基金、宗教活動再開に向けた対応等について説明会を行った。
- （2）世界宗教者平和会議（WCRP）との連携
 理事会、学習会（オンライン）等へ参加
- （3）比叡山宗教サミット37周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」への参画
 日程 8月4日
 開催地 比叡山延暦寺一隅を照らす会館／延暦寺会館（滋賀県大津市）／オンライン
- （4）新宗連国際救援金の運用と活用
 能登半島地震に対し、石倉寿一理事長名でメッセージを発表するとともに、救援金を現地で活動が続けている被災地NGO協働センターに寄託した。また、ボランティア派遣、加盟教団への勧募等を実施した。
- ボランティア派遣概要
 日程 4月2～12日、5月17～26日、6月7～16日、7月6～12日、9月20～29日、10月4～12日、11月9～24日、12月3～12日
 参加人数 延べ800人（5教団）
 派遣場所 主に石川県七尾市 ※9月に発生した奥能登豪雨災害以降は輪島市、珠洲市にも派遣
 活動内容 被災地NGO協働センターの受け入れ協力により、拠点の小牧集会場（七尾市中島町）周辺を中心に家財搬出、支援物資配布、キャンプ場整備、ブロック塀撤去、床下泥撤去等を行った。
- （5）その他、都府県宗教連盟、宗教懇話会等への参加
- （6）特別事業「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業
 「平和への巡礼Ⅰ」としてタイ王国カンチャナブリ県へ巡礼団を派遣した。
- 日程 令和7年2月22～26日
 巡礼地 連合軍共同墓地、カンチャナブリ供養塔、クワイ河平和寺院、ナムトクの丘、ヘルファイア・パス等
 内容 各巡礼地で巡拝、ナムトクの丘にて「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」を実施
 参加者 17人（9教団）

管理部門

1. 理事会

○第 32 期第 7 回（6 月 4 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 5 度新宗連事業報告、決算報告について、承認した。
- ・特別事業「すべてのいのちを尊ぶ世界実現のため」の祈りと慰霊推進事業の具体的進め方等を確認し、令和 6 年度から令和 7 年度の 2 年間で国内外の戦跡、自然災害被災地等の参拝（巡礼）を行うこと、総支部・協議会の主催（任意）により、各地域での行事等を促進していくことを承認した。

○第 33 期第 1 回（6 月 26 日 新宗連会館／オンライン）

- ・第 33 期理事長、常務理事の選任について審議し、承認した。
- ・第 33 期名誉会長、顧問の選任について審議し、承認した。
- ・日本宗教者連盟役員等の選任について、承認した。

○第 33 期第 2 回（10 月 8 日 善隣教本庁／オンライン）

- ・令和 7 年度事業大綱について審議し、承認した。
- ・令和 7 年度主要会議、行事予定について、承認した。
- ・諸規程の整備について審議し、承認した。

○第 33 期第 3 回（令和 7 年 2 月 17 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 7 年度事業計画案・予算案を審議し、承認した。
- ・宗教法人審議会委員の推薦者について、承認した。
- ・定時評議員会の開催及び、議題について、承認した。

2. 評議員会

○第 32 期第 4 回（6 月 26 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 5 年度新宗連事業報告、決算報告を行い、承認した。
- ・第 33 期役員改選について、20 人の理事、2 人の監事、13 人の評議員、2 人の参与を選任した。

3. 監査会

○令和 6 年度監査会（5 月 27 日 東京都渋谷区／新宗連会館）

- ・令和 5 年度新宗連事業報告等並びに計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査を行った。

役員等に関する事項

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

役 職 役 名	氏 名	就任年月日	常勤・非常勤の区分
名誉会長	深田 充啓	R6.6.26	非常勤
顧問	庭野 日鑛	R6.6.26	〃
同	新井 三知夫	R6.6.26	〃
同	保積 秀信	R6.6.26	〃
同	岡田 泰六	R6.6.26	〃
参 与	嘉納 良樹	R6.6.26	〃
同	鉢呂 神龍	R6.6.26	〃
理事長	石倉 寿一	R6.6.26	〃
常務理事	宮本 恵司	R6.6.26	〃
同	江口 陽一	R6.6.26	〃
同	庭野 光代	R6.6.26	〃
同	力久 道臣	R6.6.26	〃
理 事	田澤 清喜	R6.6.26	〃
同	新井 光興	R6.6.26	〃
同	本山 一博	R6.6.26	〃
同	田中 庸仁	R6.6.26	〃
同	飯島 法道	R6.6.26	〃
同	岡野 英夫	R6.6.26	〃
同	保積 志弘	R6.6.26	〃
同	出居 徳久	R6.6.26	〃
同	北浦 幸代	R6.6.26	〃
同	藤原 裕康	R6.6.26	〃
同	佐々木 孝則	R6.6.26	〃
同	高橋 秀典	R6.6.26	〃
同	小坂 匡弥	R6.6.26	〃
同	熊野 隆一	R6.6.26	〃
同	眞塩 陽一郎	R6.6.26	〃
監 事	番重 賢嘉	R6.6.26	〃
同	國富 敬二	R6.6.26	〃

評議員	石川 靖夫	R6.6.26	非常勤
同	加納 理孝	R6.6.26	〃
同	保積 敬子	R6.6.26	〃
同	左藤 滋光	R6.6.26	〃
同	平松 千明	R6.6.26	〃
同	仙波 達治	R6.6.26	〃
同	和田 めぐみ	R6.6.26	〃
同	鷹取 義博	R6.6.26	〃
同	山川 喜久子	R6.6.26	〃
同	中村 浩之	R6.6.26	〃
同	鈴木 裕治	R6.6.26	〃
同	鉢呂 金太郎	R6.6.26	〃
同	杉浦 仲雄	R6.6.26	〃

令和 6 年度事業報告の附属明細書について

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

北海道総支部 事業報告書

I. 事業方針

新宗連は教えや信条の違いを越え、共に手を携えて、人類福祉の増進と世界平和を目指して祈りと行動を続けてきた。一方、戦争や紛争、近年多発する自然災害、感染症等、人々の不安が絶えない社会の中で、一人ひとりに寄り添い、光明を示していく宗教の役割が希求されている。

特に新宗連が大切にしてきた4つのスローガン「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」の実現を目指して『定款』に掲げる「目的」「事業」を推進した。(※各総支部共通)

※以下、各協議会役職者が、包括総支部主催の総務会、総会・学習会等に参加したことに関する協議会事業報告は記載を省略(各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○副会長・総務会議(6月21日・6人 立正佼成会札幌北教会)

内 容：第32期第7回理事会、事務局長連絡会の確認、北海道総支部戦争犠牲者慰霊供養について

○戦争犠牲者慰霊供養(8月22日・20人 旭川護国神社)

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催(理事長参列)

内 容：北海道・樺太国事殉難者慰霊、加盟教団代表による公式参拝

○総支部代表者会議(11月5日・7人 立正佼成会札幌教会、

令和7年3月8日・8人 立正佼成会札幌北教会)

内 容：理事会並びに事務局長連絡会報告、令和7年度の活動計画、学習会、慰霊供養調整等について確認を行った

○学習会：(11月5日・200人 立正佼成会札幌教会)

テーマ：「紡いできた70年の物語と未来への風景」

講 師：大滝晃史／新宗連事務局長

他、「信仰体験の分かち合い」各教団1人[4教団]

III. 協議会活動

＜十勝地区協議会＞

○帯広緑ヶ丘墓地無縁故者慰霊供養(8月4日・46人 立正佼成会帯広教会)

参加教団：松緑神道大和山、立正佼成会

奥羽総支部 事業報告書

I. 事業方針(※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催(理事長、企画委員長参列)

令和6年度東日本大震災犠牲者慰霊

(5月26日・36人 岩手県釜石市片寄町稻荷公園津波記念碑前)

III. 協議会活動

＜岩手県協議会＞

○事務局会議(令和7年2月16日・4人 立正佼成会盛岡教会)

内 容：岩手県協議会開催について

○委員会(令和7年3月6日・12人 立正佼成会盛岡教会)

内 容：東日本大震災犠牲者慰霊供養について

東北総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○総務会（4月29日・8人、10月24日・10人 立正佼成会仙台教会）

内 容：理事会決定事項報告、総支部・協議会の活動・役員名簿確認、ユースフォーラム 2024 開催概要確認、今後の総支部・協議会活動について

○懇談会（10月24日・10人 外部会場）

III. 協議会活動

＜福島県協議会＞

○福島県宗教団体連絡協議会活動への参加

・三役・幹事会（5月1日・11人 ザ・ホテル大亀）

内 容：令和5年度の事業報告、会計決算、監事報告、令和6年度の事業計画、予算書等の確認

・理事会（5月17日・25人 ザ・ホテル大亀）

内 容：令和5年度の事業報告、会計決算、監事報告、令和6年度の事業計画、予算書等の確認

・講演会（令和7年3月24日・35人 キョウワグループ・テルサホール「福島テルサ」）
テーマ：「わかりやすい日本の神話」

内 容：①天地の始まり、神の結婚、天の石屋の神話、国譲りの神話、天孫降臨神話、神武東征など

②神話は、古代の伝承としてではなく現代社会、地域社会、日本人を映し出すもの

講 師：渡邊 卓／國學院大學研究開発推進機構准教授

○「第13回東日本大震災物故者慰霊洋上供養会―復興への祈り―」への参加
（7月11日・60人 いわき市小名浜江名港）

内 容：黙祷と各宗派の儀礼に則り礼拝、船上より散華と祈り並びに港湾供養

北関東総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○首都圏総支部教化活動懇談会への参加（4月5日・2人、7月18日・4人）

内 容：首都圏総支部教化活動懇談会をオンラインで視聴

○総務会（7月23日・10人、10月23日・17人）

内 容：総務会・学習会について、青年会活動報告、情報交換、理事会決定事項の報告、令和7年度総支部活動計画、他

○学習会（10月23日・17人 立正佼成会高崎教会／オンライン）

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催
テーマ：「中越地震20年の節目にあたり～被災者信仰体験～」

講 師：梶田貢司／元立正佼成会越後川口教会長

○慰霊祭（10月23日・17人 立正佼成会高崎教会／オンライン）

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催
内 容：黙祷、教団別礼拝[3教団]

III. 協議会活動

＜群馬県協議会＞

○群馬県宗教団体連合会活動への参加

- ・定例理事会調整会議（6月17日・3人、8月27日、12月18日・各2人）
- ・定例理事会、設立60周年実行委員会
（4月9日、7月9日・各3人、9月5日、令和7年1月16日・各4人）
- ・先進地視察研修（7月18～19日・3人）
- ・設立60周年記念式典（9月9日・87人）
内 容：記念式典、レクチャー講演・纏太鼓披露、祝賀会
- ・歳末助け合い募金受納式（12月19日・3人）

<長野県協議会>

- 情報交換会（9月26日・8人）
内 容：総支部第346回総務会の共有、新任副議長顔合わせ、各教団情報交換

首都圏総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 教化活動懇談会（4月5日・44人、7月18日・35人 新宗連会館／オンライン）
テーマ：各教団の祈りについて
講 師：道家紀一／日本基督教団総務幹事、本山一博／玉光神社宮司 【4月】
芳村正徳／神習教管長、藤原 博／解脱会内務局長 【7月】
- 研修会打合せ会議（4月11日・3人 東京復活大聖堂[ニコライ堂]）
内 容：行程確認など
- 研修会（9月17日・34人 神田神社（正式参拝）、湯島聖堂、東京復活大聖堂[ニコライ堂]、
カトリック神田教会・神田上水掛桶跡石碑）
テーマ：他宗教へのよりよい理解を図るとともに、多様な宗教や信仰が共生していく方途を
探る
講 師：ミハイル対中秀行／ニコライ堂長司祭・神父
- 正副会長・事務局長会議（10月1日、令和7年1月8日・各4人 立正佼成会本部）
- 総務会（10月16日 立正佼成会大月教会、令和7年3月13日 オンライン）
内 容：理事会決定事項の共有と次年度事業計画についての報告
- 総会・学習会（10月16日・42人 富士講御師上文司家住宅／北口本宮富士浅間神社）
テーマ：「富士山信仰富士講と御師の歴史」
内 容：①世界文化遺産に登録された富士山を信仰する富士講の歴史をたどり、庶民に根強
く親しまれている理由をひも解く
②北口本宮富士浅間神社正式参拝・見学

III. 協議会活動

<神奈川県協議会>

- 神奈川県宗教連盟活動への参加
 - ・理事会（4月22日・3人、6月13日、9月6日、12月11日・各2人
令和7年2月5日・1人 横浜天理ビル）
 - ・神奈川県戦没者追悼奉賛行事への参列（5月10日・3人 神奈川県立上大岡慰霊堂）
 - ・宗教文化講座（11月19日・148人[内、新宗連51人] 横浜聖アンデレ教会）
テーマ：「現代における宗教の役割～学生に今、何を教えているのか～」
講 師：西原簾太／日本聖公会中部教区主教・立教大学総長
 - ・研 修（令和7年3月4～6日 聖地参拝：高野山、天理教本部、伊勢神宮）
- 委員会
（5月11日、11月24日 オンライン、令和7年3月29日・各10人 思親会本部）

内 容：総支部総会の報告、神奈川県協の平和学習会について、令和 7 年度の計画、信仰体験交流会

○令和 6 年度神奈川県協議会平和学習会実行委員会

(6 月 7 日・8 人、令和 7 年 2 月 5 日・9 人、3 月 2 日・7 人 オンライン)

内 容：各部門進捗状況の確認、行程、備品、役割等の確認

○令和 6 年度神奈川県協議会平和学習会 (6 月 23 日・175 人 立正佼成会横浜普門館)

テーマ：世界平和への実践～50 年を迎えた「一食を捧げ 一欲を節する運動」

講 師：齋藤謙次／松緑神道大和山総合研究所所長、元新日本宗教団体連合会事務局長
＜埼玉県協議会＞

○常任委員会 (5 月 24 日・8 人、7 月 12 日・10 人 立正佼成会浦和教会、11 月 19 日・9 人 解脱会研修センター、令和 7 年 3 月 7 日・6 人 立正佼成会浦和教会)

内 容：理事会報告、総支部事業計画、協議会令和 6 年度事業計画、学習・交流会の実施計画、総務会報告、学習・交流会反省、令和 7 年度の学習・交流会・勉強会

○学習会・交流会 (11 月 10 日・51 人 武蔵一宮 (大宮) 氷川神社)

内 容：1) ご講話＝東角井真臣／武蔵一宮氷川神社宮司

2) 昇殿正式参拝

3) 境内の清掃奉仕作業

＜千葉県協議会＞

○令和 6 年度正副議長事務局会議 (令和 7 年 2 月 13 日・4 人 立正佼成会千葉教会)

内 容：令和 7 年度千葉県協議会の活動について

＜山梨県協議会＞

○委員会 (5 月 21 日・6 人 立正佼成会甲府教会／オンライン、6 月 12 日・7 人、8 月 7 日・6 人 立正佼成会大月教会／現地視察)

内 容：総務会報告、山梨県協議会事業計画・予算など検討、首都圏総支部総務会受け入れについて

北陸総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会 (5 月 28 日・10 人 立正佼成会武生教会、令和 7 年 3 月 28 日・8 人 オンライン)

内 容：理事会報告、今後の予定確認など

○学習会 (7 月 26 日・21 人 立正佼成会武生教会)

講 師：大滝晃史／新宗連事務局長

内 容：下記について講話と、意見交換などを行った

① 新宗連活動の現在地や将来像について

② 「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現のための祈りと慰霊推進事業について

③ 新宗連および新宗連青年会が取り組む「能登半島地震復興支援ボランティア」の現状報告

中部総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会 (7 月 12～13 日・18 人 崇教眞光世界総本山第二神殿、11 月 11 日、令和 7 年 3 月 14 日・各 15 人 立正佼成会名古屋教会)

内 容：令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画（案）報告、本部理事会報告、中部連盟活動報告、情報交換、今後の活動について、来年度の活動について

Ⅲ. 協議会活動

＜愛知県協議会＞

○令和 6 年第 1 回対話集会（10 月 2 日・11 人）

発表者：杉浦妙周／福聚の会会長

内 容：私の信仰体験、対話①（分科会）、対話②（全体会）

○令和 7 年第 1 回対話集会（令和 7 年 1 月 24 日・9 人）

発表者：昆野登紀枝／立正佼成会岡崎教会長

内 容：私の信仰体験、対話①（分科会）、対話②（全体会）

＜岐阜県協議会＞

○委員会（12 月 19 日・4 人）

内 容：新たに就任した委員との顔合わせとともに令和 7 年度の活動について確認を行った

＜静岡県協議会＞

○委員会（4 月 2 日・3 人、7 月 25 日、11 月 29 日、令和 7 年 3 月 18 日・各 5 人

立正佼成会静岡教会）

内 容：組織体制（議長選出）、活動計画の検討、中部総支部総会の報告等を行った

近畿総支部 事業報告書

Ⅰ. 事業方針（※各総支部共通）

Ⅱ. 会議及び総支部活動

○専門委員会

（5 月 20 日・13 人、10 月 30 日・11 人、令和 7 年 3 月 14 日・9 人 新宗連大阪事務所）

○総会（7 月 4 日・210 人 立正佼成会神戸教会、神戸市東遊園地）

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催（理事長参加）

・総 務 会：総支部役職者、各府県協議会役職者・委員

・学 習 会：被災者代表 2 人による信仰体験発表、石倉寿一理事長講話など

・慰霊式典：東遊園地の「1.17 希望の灯り」碑前で教団別礼拝、黙祷等を行った

○第 33 期第 2 回総務会（11 月 13 日・15 人 立正佼成会大阪普門館）

Ⅲ. 協議会活動

＜京都府協議会＞

○委員会（6 月 14 日・13 人 立正佼成会京都普門館）

内 容：令和 6 年度活動計画

○祇園祭鉦引きボランティアへの協力（7 月 24 日・25 人[4 教団]） ※青年部主催

○京都府宗教連盟活動への参加

・総会（7 月 24 日・4 人 城南宮）

・深草墓園慰霊祭への参加

（9 月 8 日・4 人、令和 7 年 3 月 29 日・6 人 京都市深草墓園）

○近畿宗教連盟の活動への参加

・常任委員会（9 月 13 日・5 人 立正佼成会京都普門館）

内 容：令和 5 年度事業報告・決算報告、令和 6 年度事業計画（案）・予算（案）

○教団訪問（10 月 29 日・20 人[3 教団] 円応教本部

内 容：教団施設参拝、修法体験

○京・滋新年交流会

（令和 7 年 1 月 24 日・20 人[京都府協より 15 人] 立正佼成会京都普門館）

内 容：各教団の活動報告、参加者各自の今年の目標、各教団への質問など

<滋賀県協議会>

○信楽高原鉄道 列車追突事故追悼法要に参列（5月14日・10人 信楽慰霊碑前）

※信楽高原鉄道・JR西日本主催

○能登半島地震復興支援ボランティア活動に参加（5月22～23日・2人）

○委員会（6月27日、12月8日・各5人 立正佼成会滋賀教会）

内 容：令和6年度の事業計画並びに日程について、令和6年度の振り返り、令和7年度の活動について

○京・滋新年交流会

（令和7年1月24日・20人[滋賀県協より5人] 立正佼成会京都普門館）

内 容：各教団の活動報告、参加者各自の今年の目標、各教団への質問など

<奈良県協議会>

○委員会（6月5日、8月26日、10月16日・各4人、立正佼成会奈良教会）

内 容：11月4日開催予定の平和学習会の内容・最終確認について

○第21回奈良県宗教者フォーラム（9月26日・4人 西大寺興正殿）

テーマ：「宗教が社会とどう関わっていくか～社会活動・福祉の心を見つめる～」

内 容：世界平和祈願法要、基調講演、パネルディスカッション

基調講演

テーマ：「伝える布教から、繋がる布教へ

～H1法話グランプリとYouTube法話を通して～」

講 師：小池陽人／大本山須磨寺寺務長

備 考：基調講演後、各界宗教者（樞原神宮、春日大社、東大寺、西大寺、立正佼成会）が登壇し、パネルディスカッション形式で発表を行った

○平和学習会（11月4日・70人）

内 容：・立正佼成会奈良教会広島平和学習の現地映像試写と参加者の感想発表
・各教団の平和への取り組み
・参加者同士のグループ別話し合い
・感想発表

<兵庫県協議会>

○委員会（10月25日・9人 立正佼成会神戸教会）

内 容：4月からの活動報告、今後の協議会の活動について、過去の活動内容の報告・事務局長不在（令和5年辞任）、今後の活動プラン等は議長に一任、委員の新任・退任について

○勉強会（10月25日・9人 立正佼成会神戸教会）

テーマ：新宗連活動について

講 師：公文孝枝／新宗連事務局次長

○兵庫県宗教連盟の総会への参加（令和7年3月11日・17人 湊川神社）

内 容：令和6年度事業報告・中間決算報告、令和7年度事業計画・予算、兵庫県宗教連盟規約の改正について、宗教連盟役員改選（理事長教団交代）について

○兵庫県宗務行政事務協議会の勉強会への参加（令和7年3月11日・7人 湊川神社）

テーマ：不活動宗教法人対策・宗教法人の課題等

講 師：田端和彦／兵庫大学教授、友廣隆宣／弁護士

<和歌山県協議会>

○第59回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典に折鶴奉納

7月に円応教、解脱会、立正佼成会の新宗連加盟3教団で折鶴を持ち寄り、8月1日に宅急便で新宗連事務局に送付

○新宗連能登半島地震復興支援ボランティア第2次派遣（5月17～26日）への参加（5月24～25日・2人 石川県）

中国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 首都圏総支部教化活動懇談会への参加（4月5日・5人、7月18日・3人）
内 容：首都圏総支部教化活動懇談会をオンラインで視聴
- 原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典準備会
（4月18日、5月18日、6月8日、6月29日、8月29日 オンライン）
- 新旧役職者引継ぎ会議（4月23日 立正佼成会広島教会）
- 総支部事務局長連絡会議（5月24日 オンライン）
- 第39回原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典の後援 ※青年会中国連盟主催
★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催（本部企画委員参列）
（7月20日・108人 広島平和記念公園原爆供養塔）
内 容：献花、献水、被爆体験講話、教団別慰霊供養・黙祷、他
共 催：新宗連広島県協議会
後 援：広島県明るい社会づくり運動連絡会、HRCP（ヒロシマ宗教協力平和センター）

III. 協議会活動

＜広島県協議会＞

- 委員会（6月8日・13人、6月29日・15人、8月24日・15人、11月30日・15人、令和7年3月7日・5人 オンライン）
内 容：第39回原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典、青少年セミナーについて事前・事後確認を行った
- 第39回原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典の共催 ※青年会中国連盟主催
★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催（本部、企画委員参列）
（7月20日・108人 広島平和記念公園原爆供養塔）
内 容：献花、献水、被爆体験講話、教団別慰霊供養・黙祷、他
共 催：新宗連広島県協議会
後 援：広島県明るい社会づくり運動連絡会、HRCP（ヒロシマ宗教協力平和センター）、新宗連中国総支部

四国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（4月18日・11人 オンライン、12月18日・11人 立正佼成会丸亀教会）
- 事務局長連絡会議（10月19日、令和7年3月13日・各5人 オンライン）

九州総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（4月5日・22人 立正佼成会熊本教会）
- 企画委員会（6月23日・18人、10月22日・11人 立正佼成会福岡教会、令和7年1月27日・9人 立正佼成会佐賀教会）
- 総務会・学習会1（7月8日・19人 立正佼成会大分教会）
学習テーマ：「新宗連の歩みと『すべてのいのちを尊ぶ世界実現』に向けて」

講師：大滝晃史／新宗連事務局長

討論テーマ：「コロナ自粛後、今後の協議会の活動の取り組み」

意見交換を行い、今後の取り組みについて話し合いを行った

○総務会・学習会 2（11月6日・21人 立正佼成会佐賀教会）

★「すべてのいのちを尊ぶ世界」実現推進事業の一環として開催（本部企画委員参加）

テーマ：「たった一人を救う」忘己利他

講師：玄 秀盛／公益社団法人日本駆け込み寺代表

内容：現代社会で”いのちの尊厳”が危ぶまれている様々な境遇の方々に真摯な慈善事業を行っている体験談の講演。その後、質疑応答、感想発表を通して、祈りと慰霊推進の研鑽を行った

○臨時総務会（令和7年3月11日・22人 立正佼成会佐賀教会）

Ⅲ. 協議会活動

＜沖縄県協議会＞

○沖縄宗教者の会活動への参加

・定例会「第32回祈りと平和の集い」打ち合わせ等

（4月19日・9人、6月15日・10人、7月24日・4人 立正佼成会沖縄教会）

内容：開催とプログラム、沖縄宗教者の会・天理教との役割について

・「第32回祈りと平和の集い」のリハーサル（8月5日・20人 沖縄平和祈念堂）

・「第32回祈りと平和の集い」への参列（8月15日・180人 沖縄平和祈念堂）

・「第32回祈りと平和の集い」の反省会（令和7年2月8日 外部会場）

＜北九州地区協議会＞

○委員会（4月20日・8人 立正佼成会小倉教会、7月11日・7人 善隣教戸畑教会、11月21日・7人）

内容：総務会報告、令和6年度活動計画、近況報告、その他

○青年会との懇談会（令和7年2月22日・11人）

＜長崎県協議会＞

○長崎県宗教者懇話会活動への参加

・理事会、定例会、ポスター撮影（5月17日）

・原爆殉難者慰霊祭実行委員会

（6月7日 立正佼成会長崎教会、7月4日 長崎カトリックセンター）

・理事会、定例会（7月3日 立正佼成会長崎教会）

・宗教者による世界平和を願う対話交流の集い（8月7日 マルシェ・ド・リッシュュ）

・原爆殉難者慰霊祭への参列（8月8日 原爆落下中心地公園）

世界連邦日本宗教委員会、世界宗教者平和会議日本委員会も参加

・理事会、定例会、原爆殉難者慰霊祭反省会（9月9日）

・理事会（11月1日 鎮西大社諏訪神社）

・理事会、定例会（12月17日 サンプリエール長崎）

以 上